

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2019-09-01

No. 112



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC &安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
ETSI: 規格解説: 規格案 ETSI EN 301 489-1 V2.2.1 パート 1: 電磁両立性規格(1/2)	3
IEC: 新規格リスト	6
ISO: 新規格リスト	9
UNECE: 車両規制整合化のための世界フォーラム第 178 回セッション報告書(2/3).....	10
国際テーマ: マレーシア: 電気機器の認可に関するガイドライン第 6 版[2018 年](1/9).....	12
国際テーマ: 北米の製品認証に対する要求事項	14
国際テーマ: ベラルーシの市場監視の結果	15
国際テーマ: ケニアで認可免除されている短距離無線機器	15
国際テーマ: インドの通信機器認証に関する最新情報	16
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	17
USA: FCC: Part 22: KDB: 信号ブースターについての FCC のガイダンスを紹介	18
USA: FCC: Part 15: 超広帯域医用画像撮影装置: 既存の適用免除のさらなる修正要求	18
USA: FCC: Part 15: 超広帯域無線 (UWB) 規則の適用免除申請に関するコメント募集	19
USA: FCC: 現行の無線周波曝露安全基準の維持、及び適合性判定の統一規則を提案	19
USA: CPSC: 「Anchor It!」キャンペーンに対する消費者の意識度や認知度の評価調査	20
USA: CPSC: 冷蔵庫安全法の要件の適合証明書に代り、UL 60335-2-24 適合マークで充分	21
USA: DOE: 外部電源 EPS 試験手順の適用免除の申請と暫定免除の付与	21
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	22
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	23
USA: IEEE: 新規格リスト	25
カナダ: SRSP-101 — 宇宙無線通信サービス: 1 GHz 超え周波数で運用する固定地球局等	25
EU: 新しい欧州規制 (EU) 2019/1020 を発行: 市場監視と製品の適合遵守を強化	27
EU: RED: スマホからの緊急時通信: ガリレオシステムと互換性を持たせ発信者位置を特定	27
EU: 無線機器指令第 3 条(3)(e)および(f)項の更新に対しての意見募集: 個人データの保護	29
EU: 医療機器指令: ユニークデバイス識別 (UDI) システム - よくある質問	29
EU: CENELEC: 新規格リスト	30
EU: ETSI: 新規格リスト	33
オーストラリア: 無線通信 (低妨害可能性デバイス) クラス免許変更 2019 (No. 1)	34
中国: SAMR: エレベーターの品質と安全性のトレーサビリティ情報プラットフォームを開発	35
中国: SAMR: 一部の消防製品の強制性認証の取り消しに関する公告	35
中国: CNCA: オートバイ製品の強制性認証の規格の調整に関する公告: GB34660 を追加	36
中国: SRRC: 中国は 5G の技術ソリューション候補を ITU に提出	36
中国: 新規格リスト	37
台湾: 「高効率太陽光発電モジュール技術規範」、「結晶シリコン薄膜モジュール」関連	38
台湾: 新規格リスト	38
韓国: 放送通信機資材などの適合性評価に関する告示: 一部機材を適合認証から適合登録に	39
韓国: 海上業務用無線設備の技術基準	39
韓国: 「端末装置の技術基準」の一部改正告示 (案) 行政予告通知	40
韓国: KATS: 電気用品と生活用品安全管理運用要領の改正告示: LED 照明システム関連	40
韓国: KATS: 安全確認対象の生活用品 (電池)、安全規格附属書の改正 (案) 行政予告	41
総務省: CISPR 16-4-2 の国内規格「EMC 測定装置—測定装置の不確かさ—」意見募集	42
総務省: 広帯域電力線搬送通信設備の利用高度化に係る技術的条件 (案) 再意見募集	42
総務省: 電波法施行規則等の一部を改正する省令案及び関係告示の改正案に対する意見募集	42
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の一部 (整合規格の採用等) 改正	43
経済産業省: 電力取引で扱う情報をモデル化する国際標準の開発が始まります	44
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2019 年 8 月分)	44
国土交通省: 後付け安全運転支援装置の装備拡大等に向けた開発計画について	44
ちよっといっぴく~小クイズコーナー IEC 規格に使用する略語の表記について	47
コスモス・コーポレーション: 塩水噴霧試験	26
社長の独り言	45



ETSI: 規格解説: 規格案 ETSI EN 301 489-1 V2.2.1 パート 1: 電磁両立性規格(1/2)

- 規格案 ETSI EN 301 489-1 V2.2.1 (2019-03)「無線機器およびサービスの電磁適合性(EMC)規格; パート 1: 共通の技術要件; 電磁両立性に関する整合化規格」 本整合化欧州規格案は、EN 承認させる手順において公開意見募集及び投票の組み合わせフェーズの最中にある。
- (1 範囲) 本書は、電磁両立性(EMC)に関して、無線機器および関連する補助機器（放送受信機を除く）の測定方法と技術的特性を規定する。
- (6 性能判断基準) 性能判断基準は、無線機器がイミュニティ試験に合格か不合格かを決定するために使用される。本規格では、性能基準の 2 つのカテゴリが適用される。
- (7 適用表) 試験対象の無線および/または関連する補助機器に対して各種 EMC 試験を適用すべきかどうかは、機器のタイプによって変わってくる。表 1、及び表 2 に、無線および/または関連する補助機器に適用すべき EMC 試験をリストアップしている。

UNECE: 車両規制整合化のための世界フォーラム第 178 回セッション報告書(2/3)

- 型式承認文書の交換のための電子データベース（DETA）が型式承認文書の交換に運用可能な状況に至ったことが報告された。更なる開発が必要である。
- 高度緊急ブレーキシステム（AEBS）に関するモータ車両の承認に関する統一規定についての新しい国連規制の提案が検討された。OICA は、提案を完全には支持していない。
- GRVA の下での自動化/自律車両に関する枠組み文書の作成に対して、多くの契約当事者および利害関係者からの貢献に日本の代表は感謝を表明した。
- 国連 GTR No. 15 に対する、及び国連 GTR No. 15（全世界整合化軽車両試験手順（WLTP））の修正案 1、2、3、4 に対する、正誤表の提案が採択された。

国際テーマ: マレーシア: 電気機器の認可に関するガイドライン第 6 版[2018 年](1/9)

- 電気機器の認可に関するガイドライン（1994 年電気規制） 第 6 版[2018 年]の内容を全 9 回で紹介する。電気機器をマレーシアに出荷する際のガイドラインである。

USA: FCC: 現行の無線周波曝露安全基準の維持及び適合性判定の統一規則を提案

EU: 新しい欧州規制（EU）2019/1020 を発行: 市場監視と製品の適合遵守を強化

- 欧州代理人の役割を拡大、規定する: - 欧州代理人が EU / EEA 内に設立され、適合性を証明する文書に責任を持ち、連絡先の詳細を、製品上、または製品に添付して明示する。 - オンラインショッピングにも同じ規則が適用される。
- 国境での税関の役割の拡大/規定: - CE マーキングや欧州代理人の識別など、正しく表示またはラベリングされていない製品を停止する。

EU: RED: スマホからの緊急時通信: ガリレオシステムと互換性を持たせ発信者位置を特定

- モバイルデバイスからの緊急通信により発信者の位置を確認するための、指令 2014/53/EU(いわゆる RED 指令)の条項 3(3)(g)に記載されている必須要件の適用に関する、欧州議会及び理事会の 2018 年 12 月 12 日の欧州委員会委任規制(EU) 2019/320 が、発行された。

社長の独り言

2019 年 8 月 14 日

濱口慶一

お盆休み中にこの原稿を書いています。ちょうど台風 10 号が四国、九州から本州を襲っていきました。この台風に休み中の予定をかなり乱された方もあると思いますが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？

趣味の日本蜜蜂の養蜂ですが、今年は日本蜜蜂にとって伊勢地方が住みやすい気候だった(?)のか、梅雨期に必ず発生する子だし現象（子供を成長しない内に巣の外側に出して殺してしまう現象）や、アカリンドニの発生も今のところなく、順調に野山の蜜を集めて来てくれています。プロの方に、「小さな蜜蜂が飛び回って、その一生にスプーン一杯の蜜も集められないのを、人間が横取りするのは何か忍びなく、採蜜しないのです。」とプロの方に話したところ、「採蜜しないと蜂は必ず逃亡しますよ。」と忠告されました。今年は逃げられないことを願い、来年に採蜜しようと思っています。6 群いるので、たくさんの百花蜜が取れそうです。

さて、今まで名古屋にてコスモス塾というセミナーを開催していましたが、東京でも開催しようとお盆前に参加者の募集を開始したところ、2 日で満席となりました。有り難いことです。このお盆休みの間、今回の東京でのセミナーの参加者の多かったのは一体なぜだろうと、色々な情報の分析や、今までの個人的な経験などを整理しながら何故だろうと考えています（技術的に関心をお持ちのテーマであったかもしれません）。今後は東京や名古屋だけでなく、セミナー会場を増やしていくと同時にお客様の関心あるテーマ選定も考えていきたいと思っています。認証機関である弊社にとって、種々の規格の解釈などを特定のお客様に教示することは「コンサルタント業務」にあたるため、多くのお客様が集まる中で規格の解釈を皆様と考えていきたいと思っています。

製品安全も最新技術での対応が求められています。製品技術の側面とその考え方について、私たちは「より安心、安全を求める」という考え方を基本としています。技術の進歩により、製品規格のレベルでは対応できないことが想定され、リスクアセスメントで製品安全の妥当性を評価する方向になってきていると感じています。従って「より安心、安全の方向で」判断する必要があります。セミナーを通じて安全の哲学についてもふれていき、コスモス塾をさらに発展させたいと考えています。

この「社長の独り言」の読者でコスモス塾に参加を予定している方がいらっしゃいましたら、講師が困るような難度の高い質問をぶつけてやって下さい。規格のどこにも書いてないので x x x x ですよという回答をしたなら、少々いじわるな質問になっても、なぜそうなるのかと突っ込みを入れて欲しいと思います。「より安心、安全を求める」という方針で考えれば、規格書に規定されていなくても「より安心、安全」になるような、明確な回答が出るはずですよ。これが私の製品安全への姿勢ですので、コスモスのスタッフは骨身にしみていると信じています。

産休で休暇中のある女子スタッフから、お子さんが成長して、近くの保育所に預けられる環境があるということで、職場復帰を申し出てくれました。力量は十分だと思いますので、彼女にサポートしてもらいながら、製品安全の参考書を作りたいと思っています。参考書を熟読いただき、「より安心、安全の方向で」判断いただくことにより、IEC 60950-1、IEC 60335-1、IEC 60065-1、IEC 61010-1、IEC 60601-1、IEC 62368-1 などの規格に対応するための助けとなればと思い、企画しているところです。

製品安全評価の業界に置いていただいて約 40 年になります。弊社の顧問として活動している方々以外に、業界に 40 年以上いる方が少なくなりました。規格が新しく改定されつつある中であっても、「温故知新」として必ず、私の経験したことを可能な限り組み込み、皆様にオープンにしていきたいと思っていますので、その際は宜しく願い申し上げます

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国际機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行 : 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格 : 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	MLIT: Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism	国土交通省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2019-09-01 (No. 112)

発行所 : 株式会社コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <http://www.safetyweb.co.jp/>

発行人 : 濱口慶一

編集人 : 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2019 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。